

みんなでつなごう地域医療のわ

てとてとて

発刊：地域医療を考える会
住所：小林市細野300番地
電話：(0984) 22-3008

小林市に地域医療を考える会発足

創刊にあたって

会長 前田隆一



地域医療を考える会の会則に「住民の立場で考え、活動することで医療をとおした地域づくりに寄与することを目的とする」とあります。私たち住民に出来ることは何か、まず現状を知り、そこから今なすべきことを考え

実行していかなくてはなりません。

先日、市立病院の坪内院長先生から当会役員に対して、市立病院医師の勤務の現状をお聴きする機会がありました。その中で勤務医の過酷な労働の現状が良くわかりました。それは月のうち5、6回当直があり、当直時は夜間緊急手術があれば対応し、翌日は朝から続けて外来診療、午後からは長時間にわたる手術を行うといった労働です。そうした状況で、市立病院の医療を支えてこられた院長先

生を始め勤務医の方々には頭が下がる思いがしました。そうしたことを住民があまり知らないとすれば、そこをまずお伝えする必要がありますとも考えました。

市立病院については行政の問題としてとらえる立場、病院の運営の問題としてとらえる立場など様々なとらえ方があると思います。

しかし、私たちはまず「住民の立場から」という軸足を設定して考えていきたいと思えます。『自分たち患者がお客さまのままでいると、この地域の医療はダメになるという不安を感じていました』これは東金市のNPO法人地域医療を育てる会の

理事長藤本晴枝氏が会を発足時に感じておられたという言葉です。

私たちも「お客さま」ではなく、**当事者**として、自分たちに出来ることから活動を始めたいと思います。それは、例えば住民の中に正しい情報が無く、そこに現状とずれが生じているとすれば、**情報発信**をしていくこと。そしてまずは住民同士の連携、病院とそして関係機関との連携、そうしたつながりの中で「**まちづくり**」の活動となっていければと考えています。

皆様のこの会へのご参加とご協力をお願いします。

役員と事務局

小林市役所本館1階地域医療対策室に、地域医療を考える会の事務局があります。

地域医療対策室の永野対策監、深見主幹、日高さんには、我々の活動をサポートしていただいております。



【地域医療を考える会 事務所】
〒886-0004小林市細野300番地
(小林市役所本庁1階)
地域医療対策室内です。
TEL:0984-23-3008
E-mail :
iryou@city.kobayashi.lg.jp

私たちは、小林市立病院の医師不足と医療環境に不安を感じながら生活をしています。今、県南や県北をはじめ全国で医療環境の改善を求めて、住民が行政と一緒に活動を拓けています。小林市でもNPOやボランティアの仲間が集まり、「住民の安心」は「住民の活動」により～やれる事から始めよう～と「地域医療を考える会」が発足しました。

これまでの経緯

- 5月29日：第一回会議 発足にあたっての会の趣旨共有
- 7月3日：第二回会議 会の趣旨、会則、会の名称協議
- 7月28日：第三回会議 役員と事業・予算の承認及び県北の視察研修計画。西諸医師会事務局長から小林市立病院の医師不足と医療改善に向けた現状報告

今後の活動予定

- 第4回定例会
 日程：8月19日（木）
 時間：午後6時30分開会
 場所：小林市立病院大会議室
- 視察研修（延岡市）
 日程：8月28日（土）
 時間：午前6時30分～午後6時
 場所：県北地域医療を守る会
- 地域医療講演会
 日程：10月6日（予定）
 時間：午後6時30分開場
 午後7時開演
 講師：愛甲 孝先生
 （元鹿児島大学医学部・歯学部病院院長・元同大理事）

いっしょに活動してくれる仲間を募集しています

いっしょに地域医療について考え、より安心して健康に生活できるまちづくりをしていきませんか？

「地域医療を考える会」は、多くのサポーター・会員を募集します

- ☆ この会に興味をもってくださった方
- ☆ フリーペーパー「てとてとて」をおいていただける方
- ☆ 行事に参加していただける方
- ☆ 講演会等の行事の呼びかけに、協力いただける方
- ☆ 定例会に参加いただける方 et c...

山下副会長のコラム

二歳になる子供が、最近救急車に興味を持って、市立病院が近くにあることもあり、ピーポー・ピーポーと覚えて言葉をよく耳にします。今までは救急車でまた誰か搬送されているとしか思っていませんでしたが、地域医療を考える会に入会し、手術には、最低2名のお医者さん、麻酔の先生、看護師さんと多くの方が必要だとのことを知り、子供がピーポー・ピーポーと言うとその後に私が、患者さん頑張れ！病院の先生頑張れ！と言葉を付け加えることにしました。二歳の子供に伝わるとは思いませんが、お父さんが何か言っていると感じ取ってもらえればと思います。世間で一時、たらい回し等の問題もありましたが、私の住むにしろでは、その話はあまり聞きませんでした。医療の現場では、多くの命を守るための懸命な努力や連携があったんだと改めて感じます。今後も子供に色々教えたいと思います。

西諸医師会 「夜間急病診療電話案内」ご利用案内

夜間急病診療電話案内

平日夜間 午後7時から午後10時まで

23-8212

日曜・祝日は午前9時から正午12時まで
（原則小児科）

診療対象者 急に具合が悪くなった方で、自力で医療機関に行くことができる程度の症状（入院治療を必要としない初期救急）の方

「昼間は仕事があるから」「平日は忙しいから」といった自己都合での受診はお控えください。

この電話案内は医療機関を案内するものです。病気に関する相談を受けることはできません。

夜間、子どもの急な病気で困ったときは・・・

小児救急医療電話相談

短縮ダイヤル（携帯電話・プッシュ回線）

#8000

ダイヤル回線からは 0985-35-8855

相談時間 午後7時から午後11時まで
土・日、祝日のみの実施でしたが、4月1日から毎日実施になります。

- **地域医療に関する出前講座のご案内**
 「なぜ急に医師がいなくなるの？」「私たちの医療環境はどうなるの？」など皆さんの疑問・質問にお答えします。地域、企業、団体などで希望される方はご連絡ください。
 - **医師の情報をお待ちしています**
 ご家族や親戚、友人や知人に医師の方はいらっしゃいませんか？些細な情報で構いません。地域医療対策室までお寄せください。
- **地域医療対策室 TEL 22-3008 FAX 25-1051**